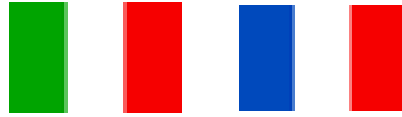


# 外交官となった蝶

---



ミイロシジミタテハ

イタリア国旗

フランス国旗

ペルーにはミイロシジミタテハという開長が 35mm ほどの小柄な蝶がいますが、この蝶の表翅、裏翅とも実に美しく、燕尾服のような長い尾をもっています。

翅には黒地に赤・白・青の斑紋や帯があって、その青色の細い帯と後翅の赤斑とは光線の角度によって微妙に変化します。

この蝶には面白い話があります。第一次世界大戦後、フランス大使婦人が、この蝶を額にした飾り物を髭の老帝として知られたイタリアのエマヌエル陛下に見せて散々うらやましがらせて、それを故意に忘れて帰り、イタリアとフランスの親善に尽くしたという話があります。

この蝶、見方によってある場合はイタリア、ある場合はフランスの国旗にも見えます。

蝶界広しといえども、後にも先にも外交官となった蝶はミイロシジミタテハ以外にはないようですね。

---